

イチゴ輸出拡大を図るための生産技術開発 公開シンポジウム

1. 趣旨

イチゴは輸出拡大の重点品目として位置付けられており、2030 年には輸出額 253 億円（2025 年：67 億円）の達成が目標とされています。

本事業「高品質な日本産イチゴの輸出拡大に向けた高付加価値化・効率的生産技術及び総合防除体系の開発」では、近年の温暖化による高温環境下においても高品質な果実を安定的に生産する技術の開発と、輸出先国の残留農薬基準に対応した防除体系の構築に取り組んでいます。

本公開シンポジウムでは、イチゴの輸出拡大に向けた重要課題とその最新の取組について、JA、生産法人、一般生産者の皆様をはじめ、幅広い関係者の皆様に紹介します。

2. 主催

農研機構 野菜花き研究部門

3. 開催日時

令和 8 年 11 月 9 日（月） 13 時 00 分～（受付 12 時 30 分～）
（17 時 00 分～19 時 00 分：情報交換会）

4. 開催場所

TKP ガーデンシティ PREMIUM 東京駅日本橋 ホール 6C
（住所：東京都中央区日本橋 3-11-1 HSBC ビルディング 6 階、電話番号：03-5299-9007）
※対面のみ（オンライン開催は致しません）

5. 内容（変更する場合があります）

- 1) 夏秋イチゴ高単収経営の栽培管理実態と経営成果
農研機構 中日本農業研究センター 田口 光弘
- 2) 台湾等への輸出に対応した防除技術体系の構築
農研機構 東北農業研究センター 今崎 伊織
- 3) 輸送の損傷を低減するシュリンク包装容器
農研機構 九州沖縄農業研究センター 三角 将洋
- 4) イチゴ自動収穫ロボットの導入による省力化
福岡県農林業総合試験場 佐藤 公洋
- 5) 有機栽培によるイチゴの高付加価値化
農研機構 中日本農業研究センター 須賀 有子
- 6) 総合討論 コンビナー 農研機構 野菜花き研究部門 磯崎 真英

6. 参集範囲

施設園芸生産者、関連事業者、行政機関、研究機関等 定員 100 名

7. 申し込み方法

下記の URL から参加申込みフォームへ進み、各項目に必要な事項をご記入ください。

【参加申込フォーム】 <https://forms.cloud.microsoft/r/3Na2PkaWhN>

締切：令和8年10月29日(木曜日)17時

申し込み先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。

8. 事務局および連絡先

農研機構 野菜花き研究部門 施設生産研究領域 小田 篤

電話：029-838-8681

E-mail：ichigoyushutsusympo(at)ml.affrc.go.jp

※メール送信の際は(at)を@に置き換えてください。

8. その他

- ・本シンポジウムの録画・録音・撮影はご遠慮ください。
- ・シンポジウム終了後に情報交換会を開催します。参加をご希望の方はチラシをご参照の上、お申込みください。
- ・シンポジウム翌日の11月10日(火)10時00分から、つくば植物工場見学を行いますので、ご希望の方は事務局までお問い合わせください。